



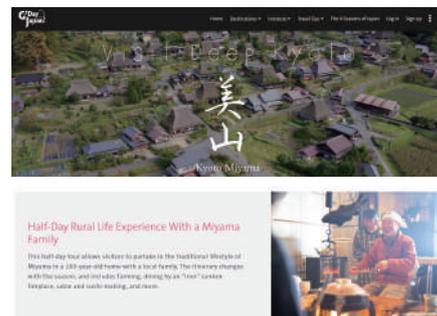
私たち、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会は、観光によるまちづくりの一翼を担うことを目指し、地域と観光客の間に立ち事業者や住民の皆様と共に歩み始めて8年が過ぎました。観光は、地域資源を商品として販売することで、住民と生産者・観光事業者・飲食業者等がつながる大きな産業となり得ます。何よりも地域の文化や自然に愛着や誇りを持ち知識や技術を生かすことで生き生きと暮らすことが最大のまちづくりの成果であると考えます。引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会
代表理事 高御堂 厚

豪州からの訪日客続々！

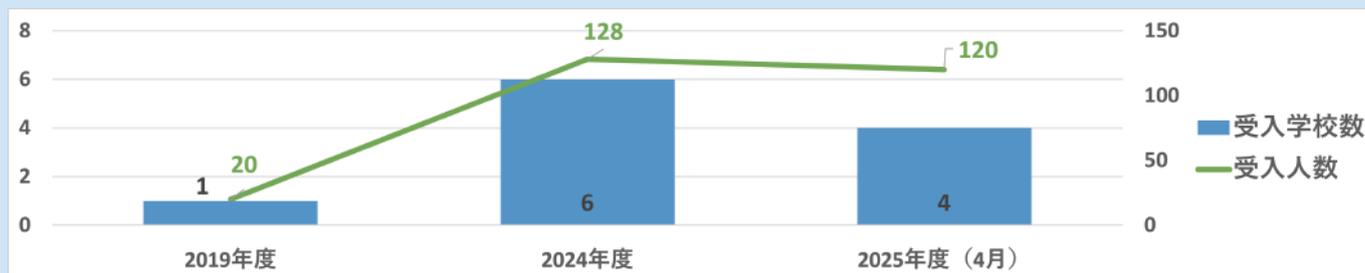
当協会では豪州からの訪日旅行者の誘客を目指して、5年前から現地の商談会に参加するなど営業に取り組んできました。京都市には国別5位にあたる年間約65万人のオーストラリア人が宿泊し、コロナ禍前と比較しても増加傾向にあります。京都市からおよそ90分でアクセスできる立地を活かした販促活動を行うことで、京都市での滞在と併せた来訪を見込んでいます。

当協会では2022年度から現地の観光WEBサイトで美山の特設ページを公開し、広告を配信するなどの取り組みを行ってきました。今年7月から配信した広告は、1ヶ月間で8万人を超える方に閲覧いただいています。中でも50代後半から60代前半からの閲覧が多く、田舎暮らし体験やかやぶきの里ガイドツアー、農家民宿での宿泊など「地域住民との交流」を美山町に期待していることが分かりました。



豪州の観光サイト G' Day Japan に掲載

美山町における豪州訪日教育旅行受入学校数と受入人数



9月からは豪州の訪日教育旅行の受け入れが約5年ぶりに再開します。今年度は6校、約130名の生徒を受け入れる予定で、来春の問い合わせも複数入り、訪日教育旅行回復の兆しが見えてきました。

受け入れにあたり、ホームステイのご家庭をはじめ、美山小学校や美山中学校に学校交流で連携いただく他、料理体験やお餅つき体験などの文化体験の際には地域住民や事業者の方々にもご協力いただきます。地域一体となった受け入れを推進し、豪州の生徒たちとの交流を通じて、地域の皆さまが美山町をさらに誇りに感じられるような機会となるよう、努めてまいります。

内閣府首相官邸と日本政府観光局の公式 SNS で 美山町が紹介されました

茅葺き屋根が建ち並ぶ農山村の美しい風景に出会えると、国内外の多くのメディアに美山町を取り上げていただいています。このたび、内閣府首相官邸の海外向け SNS アカウント、そして日本政府観光局パリ事務所およびバンコク事務所のインスタグラムで美山町をご紹介いただきました。かやぶきの里でのおすすめの過ごし方や美山のイベント、人気のグルメなどを紹介した投稿には「伝統的な茅葺き民家が残る地域を知ることができて嬉しい」「前回は都市を観光したので次の日本旅行でぜひ行ってみたい」などのコメントが多く寄せられました。今回の SNS での発信が今後の誘客促進に繋がることを期待します。



内閣府首相官邸
の投稿



日本政府観光局
パリの投稿



日本政府観光局
バンコクの投稿



内閣府首相官邸の投稿

国内教育旅行の受け入れ

7月、香里ヌヴェール学院小学校、奈良学園小学校、追手門学院大学、大阪学院大学（留学生）の計4校の国内教育旅行を受け入れました。内3校は毎年美山町で教育旅行を行っている学校です。町内事業者や住民の方々にご協力いただき、林業体験やわら細工体験、地域の方へのインタビューなどを実施しました。美山での体験や地域住民との交流は生徒、学生にとって貴重な学びの機会になったようです。

これからも継続的に美山町を教育旅行の目的地として選んでいただけるよう、町内事業者、地域の皆様と共に体験や学習プログラムの整備に努めてまいります。



芦生の森モニターツアー実施



モニターツアーの様子

7月4日、当協会会員を対象とした芦生の森モニターツアーを初めて実施しました（主催：芦生もりびと協会、美山 DMO）。町内事業者や地域住民の方々に美山の魅力を改めて体感いただこうと企画したツアーで、11事業者16名が参加しました。地元ネイチャーガイドの解説を聞きながら、由良川の最初の一滴を目指す上谷コースを歩きました。

ツアー終了後には、今後來訪者に芦生の森トレッキングを広くご案内していただけるよう、町内3つの体験事業者からツアーの概要についてお話いただきました。

参加者からは「芦生の森トレッキングツアーに参加するのは初めてでした。ツアーの魅力は今後自社の WEB サイトで情報を掲載するなどしてお客様に紹介していきたいです」といった感想が寄せられました。今後もモニターツアーの実施や事業者間連携の機会を設けていく予定です。